

～～第8487回～～

荒川三山

～H30. 7. 22-25～

樫島から荒川三山を巡る。3000m超の山が6座(丸山・悪沢岳・中岳・前岳・小赤石岳・赤石岳)連なる赤石山脈南部の中心だ。1日目はゆつたりと樫島泊まりで、鳥森山を訪ねる。樹林帯で景色はないが、よく整備されたハイキングコースは歩きやすい。ウバユリが群生し、山頂からは荒川岳・赤石岳が望まれる。風呂もあってうれしい。

2日目は千枚小屋までの長い登りだ。滝見橋の少し先に立派な吊橋が完成し、登山口がここに変更されている。橋を渡るといきなりの急登だ。鉄塔を過ぎて旧道と合流し、また鉄塔下に出る。ここからは比較的緩やかになるが延々と登りが続く。清水平の清冽な湧水で喉を潤し、早めの昼食をとる。強い日差しもシラビソの樹林に遮られて少しはましだ。見晴岩に出ると悪沢岳が姿を現す。直ぐ横の林道がしゃくに障るが、景色を眺めながら清水平の湧水でコーヒーを淹れる。すり鉢の底に少しだけ水を湛えた駒鳥池を過ぎ、やっと千枚小屋に着く。小屋の周りはマルバダケブキに覆われたお花畑だ。

3日目、夜明け前の雲海に富士山が浮かんでいる。今日は赤石岳までの長丁場のため、早めに小屋を出る。マルバダケブキの咲き誇る斜面を抜け千枚岳へ登る。お花畑が丸山へと続く。特にマツムシソウやタカネビランジが鮮やかだ。今年は開花が早く、クロユリは終わりマツムシソウが花盛りを迎えている。今回の最高峰、悪沢岳(東岳)を過ぎると岩場の急な下りが大変だ。中岳避難小屋裏の日陰で休憩し、前岳を往復する。花の多さに浮かれてのんびりしすぎ、荒川小屋へ下る足を速める。柵に囲まれたお花畑を抜け、やっと小屋に着く。カレーを頼んで遅い昼食を済まし、直ぐに出発する。急坂を登ると小赤石岳への長い稜線が姿を見せる。疲れが見え始めたがまだ先は長いので、ゆっくりだが確実に歩みを進める。小赤石岳の肩に出て一息つく。ここまでくれば一安心、赤石岳までは緩やかな尾根歩きだ。頂上直下の赤石岳避難小屋に入る。山小屋主人の写真説明の後、消灯を延長して女主人のハーモニカ演奏に合わせ山の歌を合唱する。

4日目は最終日、樫島へ下山する。赤石岳に別れを告げ、北沢源頭を下る。急なザレ場で危険な箇所だが、お花畑は満開だ。富士見平で一服し、赤石岳・荒川岳の雄大な姿を目に焼き付ける。朝食に赤石小屋のラーメンを食べ、コーヒーを湧かす。後は樫島ロッジまでひたすら下る。バスの最終便に乗り、白樺荘で温泉に入って帰る。

参加者：5名(藤枝)

天候：①晴 ②曇|晴 ③晴 ④晴

地図：赤石岳・塩見岳

コースタイム：藤枝＝畑薙第一ダムP1040-1140＝樫島1250-1355…鳥森山1535…樫島ロッジ(泊)1637-555…見晴岩1136-1205…千枚小屋(泊)1430-515…千枚岳620…悪沢岳820…中岳1020…前岳1035…荒川小屋1200-35…赤石岳1530…赤石岳避難小屋(泊)500…富士見平722…赤石小屋800-45…樫島ロッジ1300-1400＝畑薙第一ダムP1450＝白樺荘＝藤枝

記録:藤枝支部 ゆ記



千枚小屋からの富士山
(夜明け前)



悪沢岳(東岳)の西斜面

タカネマツムシソウ



タカネビランジ

